

消費税10%「先送り」ではなく **キッパリ中止**に

暴走ストップ！ 政治を変えよう

- 財源は**
- 富裕層と大企業に応分の負担を求める税制改革
 - 大企業の内部留保を活用し、国民の所得を増やす経済改革による税収増

消費税に頼らない道に進んで **暮らし優先の経済に転換します**

- 1 人間らしく働ける 雇用のルールを**
 - 派遣法の改悪許さず、正規雇用を原則に
 - 過労死をなくす
 - 中小企業支援と体で最低賃金の大幅引上げ
- 2 年金、医療、介護、教育を「切り捨て」から「充実」に**
 - 低すぎる年金を底上げし、「減らない年金」に
 - 医療費の窓口負担、国保税の軽減
 - 特養ホームも保育所も待機者ゼロに
 - 先生を増やし35人学級に
 - 返還不要の奨学金を創設する
- 3 農林水産業と中小企業の振興**
 - TPP交渉からたごに撤退
 - 米価の暴落に緊急対策
 - 価格保障と所得補償で農業再生
 - 魚価の安定、水産業の販路確保支援
 - 外形標準課税による中小企業への増税ストップ

復興 支援の不足・制度の欠陥を **被災者の声でただして加速**

- 被災者の医療・介護の免除再開
- 災害公営住宅の建設促進・家賃の軽減
- 中小企業と商工業者の再開支援を強化
- 鉄道の全線復旧

憲法 集団的自衛権行使の閣議決定は撤回

原発 女川原発の再稼働ストップ 放射能のある廃棄物処分場 水源地域への建設は撤回に

企業献金も政党助成金も受け取らず、国民の立場で筋を通す

比例代表は **日本共産党** とお書きください



こだか洋ツイッター▶ <https://twitter.com/rossonero2010>

国民の声を届く政治に

くらしを壊して格差を拡大、景気を悪化させたアベノミクス。被災地復興の最大の妨害は消費税増税でした（河北新報）11月6日）

三党合意（2012年6月21日）で増税を決めた自民・公明・民主に、きびしい審判をくだしましょう。

（略歴）一九八〇年、栃木県生まれ。秋田県立大学システム科学技術学部卒。ソニー仙台工場で働き労働組合委員長。現在、党4区雇用子育て相談室長。



日本共産党 宮城4区候補者

こだか洋 (34歳)

共に、復興！
そして、ふるさと創生

私は今日まで愛する郷土とこの国の繁栄、そして愛する県民と国民の幸せを願って常に現場第一主義を貫いて議員活動に専心してまいりました。

あの東日本大震災からの復興そして郷土の新しい創生は今こそ正念場です。そのために、この道を行きます。

私はこれまでの議員活動で培った経験をフルに活かして全力を尽くして、お約束を実行いたします。

どうか強いご支援をお願い申し上げます。

いとう信太郎

信のあるクリーンな政治——いとう信太郎は動きます！

- 〈私のお約束〉
- ◆すべての人が実感できる景気回復のために
 - ・デフレからの完全脱却、雇用創出、賃金底上げの経済政策
 - ◆農林水産業を国の基として守るために
 - ・国際競争力の強化、従事者の生活の安定と質の向上
 - ◆東日本大震災からの復興加速のために
 - ・被災地、被害者の代表として最重要国家事業に、国費負担の充実
 - ◆誰もが生活と未来に安心と希望を実感するために
 - ・年金、医療、介護、子育て支援等社会保障の充実
 - ◆魅力あるふるさとの創生のために
 - ・放射性廃棄物最終処分場の建設は候補自治体の合意を前提にした国家事業に。
 - ・知事と共に、安全・安心の郷土づくりで観光立県の推進
 - ◆心豊かな人材を育てる教育のために
 - ・歴史、文化、風土を活かしての教育とコミュニティ形成
 - ◆毅然とした外交、安全保障の確立のために
 - ・我国の主権・領土領海の防衛を前提にした平和外交推進

いとう信太郎 プロフィール

昭和28年生まれ	元衆議院議長故伊藤宗一郎長男	■就任した主な役職
昭和51年	慶應義塾大学経済学部卒業	外務大臣政務官
昭和55年	ハーバード大学大学院修士課程修了	外務副大臣
昭和56年	国務大臣防衛庁長官秘書官	衆議院環境委員会委員長
平成8年	衆議院議長政策秘書	衆議院復興特別委員会委員長
平成13年	東北福祉大学教授	自由民主党宮城県連会長(現)
平成13年	衆議院議員初当選(当選4回)	■家族 母、妻、子
		■趣味 映画
		■座右の銘 行学一如



宮城県四区 自民党公認

いとう信太郎 (48歳)

The Democratic Party of Japan
民主党公認

今こそ、流れを変える時。

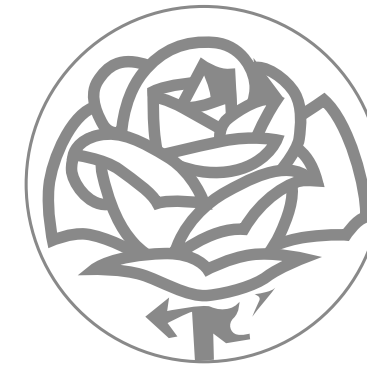
この2年間、大切なものが失われてきました。一強多弱の国会と言われ、強行採択がくり返され、アベノミクスによって国民生活は疲弊。格差拡大。憲法もないがしろにされてきました。この国の行方に思いをめぐらせていただき、今こそ、流れを変える大きな力を。

- | | | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 01 | ふるさとを元気にする <ul style="list-style-type: none"> ● 大震災集中復興期間の延長 ● 農林水産業 第一次産業の再生 ● 農業者戸別所得補償制度の法制化 ● 2030年代原発ゼロに向け、あらゆる政策資源の投入 ● ガソリン・軽油・灯油の価格高騰対策 | 井戸まさえプロフィール
松下政経塾出身、元衆議院議員、1965年仙台生まれ。(48歳)
宮城県立第二女子高等学校卒業
◎1988年 東京女子大学文理学部卒業
◎2005年より兵庫県議員(2期)
◎2009年衆議院議員に初当選
◎内閣委員会理事、消費者問題特別委員会理事、法務委員会理事、経済産業委員会委員などを務める。
党幹事長補佐として震災復興に力を尽くす。
◎民法の改正、子どもの貧困問題、年金問題などに党の中心メンバーとして携わる。
NPO代表として、「無戸籍児問題」にも取り組む。 |
| 02 | 福祉・教育を大切に <ul style="list-style-type: none"> ● 介護報酬の引上げ ● 労働者保護ルールの改悪阻止 ● 35人以下学級の推進 ● 女性と子どもの貧困解消 | |
| 03 | 子どもの未来を守る <ul style="list-style-type: none"> ● 集団的自衛権閣議決定の撤回 ● 再生可能エネルギー最大限導入 | |
| 04 | 行財政改革推進！ <ul style="list-style-type: none"> ● 議員定数削減・一票の格差是正 | |



民主党 衆議院小選挙区選出議員候補者

井戸まさえ (48歳)



12月14日(日)は、 衆議院議員総選挙 最高裁判所裁判官国民審査の 投票日です。

- ◎投票日当日、投票ができないときは、期日前投票または不在者投票をしましょう。(12月13日(土)まで)
- ◎投票所の入場券が届いていない場合やなくしてしまった場合でも、選挙人名簿に登録されているご本人であることが確認できれば投票できます。

衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査については、
宮城県選挙管理委員会ホームページをご覧ください。

宮城県選挙管理委員会

検索